

全国財務局初！
論文コンテスト応募者と座談会を行いました

昨年、財務省が初めて企画した、「財務局学生論文コンテスト」。この論文コンテストは、財務局行政の分野に関心を持つ学生の研究の奨励と地域の財政金融に関する知識の啓蒙普及を目的に実施しています。

今回、この論文コンテストに応募いただいた学生さんと指導教授を招いて、座談会を行いました。

第1弾

【日 時】 平成 24 年 2 月 23 日 (木) 13:15~15:45

【場 所】 福岡財務支局 小会議室

【出席者】 [西南学院大学] 西南学院大学法学部 毛利教授、論文コンテスト応募者 5 名

オブザーバー 3 名

[福岡財務支局] 菊地支局長ほか 7 名

～論文コンテストに応募してみて～

今回、論文コンテストに応募した理由について、毛利教授から、「昨今、世の中が複雑化し、『法律』と『経済』それぞれ単体ではなく、二つの知識を併せ持っていかなければならないということ、当コンテストが『共同』で論文を書くという大変めずらしい取り組みであること、また、ちょうどゼミの夏合宿の時期でもあったことから、学生に声をかけてみました」とのお話がありました。

学生の皆さんからは、「法学部なので、経済の知識がほとんどないため、まず何が問題であるのか、それを探るところからのスタートで大変苦労しました。」「大変な思いをしながら書き上げたが、これをきっかけに世の中の経済や金融の動きに大変関心を持つようになり、よかったです。」という声が聞かれました。


～西南OBからの業務説明～

西南学院大学出身の当局職員から、財務局の業務説明やこれまで携わった仕事の体験談を説明しました。

財務局の業務は、財政・金融・管財など多岐に渡っており、様々な場で法律の知識が必要とされること、また勤務地も福岡のほか、佐賀・長崎・東京など希望によっては、あらゆるフィールドで活躍するチャンスがあることなどが紹介されました。

～「社会保障と税の一体改革」について～

菊地支局長から、「社会保障と税の一体改革」について概要を説明したところ、学生の皆さんも関心が高く、活発な意見交換が行われました。以下、一部を紹介します。

<増税のタイミングについて>

学 生 「増税の必要性は理解できたが、景気が悪い今の段階での増税は見送るべきではないか。」

支局長 「病人に例えると、非常に体力が落ちているとき、熱が高いときに手術はしないほうがいいが、ある程度安静にして落ち着いている状況であれば、一気に手術をすれば治ることもある。実は、景気はマクロの数字を見ると必ずしも悪くない。感覚だけでなく数字も見てほしい。」

<複数税率の適用について>

学 生 「外国のように、種目ごとに税率を変える複数税率制を採用すれば良いのではないか。」

支局長 「ヨーロッパでは、例えば、食料品には低い税率、それ以外のものには標準的な税率と使い分けているが、複数税率は問題点が2つある。1つは非常に手間がかかるということ。ケチャップの例で言うと、トマト生産者が肥料や農機具を買う、トマトを作って市場に売る、卸業者が市場で買う、それをケチャップ工場が買って加工する、商店が仕入れてお店で売るという何段階もの取引があるが、全ての取引をインボイスという形で、取引の都度、税金額を紙で受け渡すという方法を取っており煩雑。2つ目は、パンや牛乳など日常的なものとキャビアなどの高級品を区別するのかなど、軽減税率の適用範囲をどうするかこれも悩ましい問題。こういった点を勧告し、今回の政府案では税率を10%の単一税率とし、低所得者への配慮などは別の方法で行う仕組みとしている。」



第2弾

【日 時】平成 24 年 3 月 13 日(火) 13:30~15:00 【場 所】福岡財務支局 第3会議室
【出席者】[西南学院大学] 西南学院大学商学部西田ゼミ 論文コンテスト応募者 2 名
[福岡財務支局] 牟田金融商品取引所監理官ほか 4 名



第3弾

【日 時】平成 24 年 3 月 14 日(水) 9:30~11:00 【場 所】長崎大学内会議室
【出席者】[長崎大学] 長崎大学経済学部 岡田学部長、矢島教授、工藤准教授、
論文コンテスト応募者 (5 名)、オブザーバー 2 名
[福岡財務支局] 菊地支局長、安出長崎財務事務所長ほか 4 名



第4弾

【日 時】平成 24 年 3 月 15 日(木) 13:15~15:20 【場 所】福岡財務支局 大会議室
 【出席者】〔西南学院大学〕西南学院大学経済学部 近藤教授、論文コンテスト応募者 4 名
 〔福岡財務支局〕金子財務主幹ほか 7 名



～最後に～

これらの座談会は、実は財務局として全国でも初の試みでしたが、積極的な質問や意見交換が行われ、いずれも予定終了時刻を超過する盛り上がりとなりました。

今回は「論文コンテスト応募者との座談会」という形で実施しましたが、今後もいろいろな機会を捉えて、地域の大学生の皆様との交流を図っていきます。

「財政のことが知りたい」、「地域経済のことが知りたい」といったご希望があれば、資料の提供や説明、ゼミ生対象の講演なども行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

※講師派遣依頼について詳しくはこちら↓

<http://fukuoka.mof.go.jp/html/kouen/index.html>

【本件のお問い合わせ先】

財務省 福岡財務支局

広報担当 高橋 092-411-7281